

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

安全のために必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

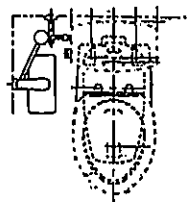
- この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。

△ 注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があります。

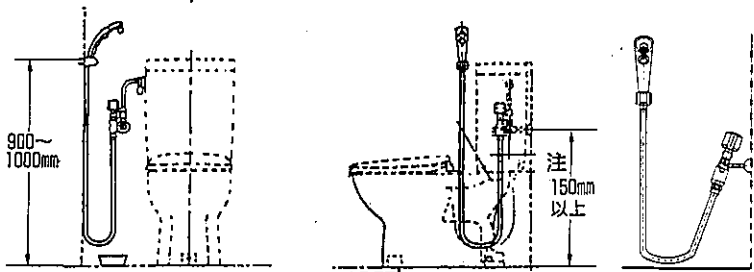
△ 注意

- (1)水受けトレイを吐水口の真下に設置してください。吐水口からの水滴により床を濡らすおそれがあります。
- (2)凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)
- (3)フックシャワーの場合、必ず調圧弁を取り付けて下さい。調圧弁を使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

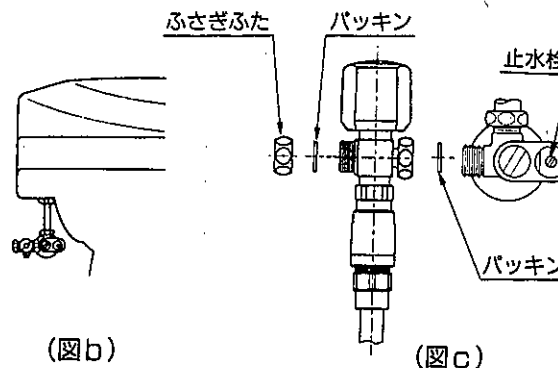
完 成 図



注：一般地で150～220mm、寒冷地で150～320mmのときは、図のように開閉ハンドル部が斜めに傾いた状態になります。

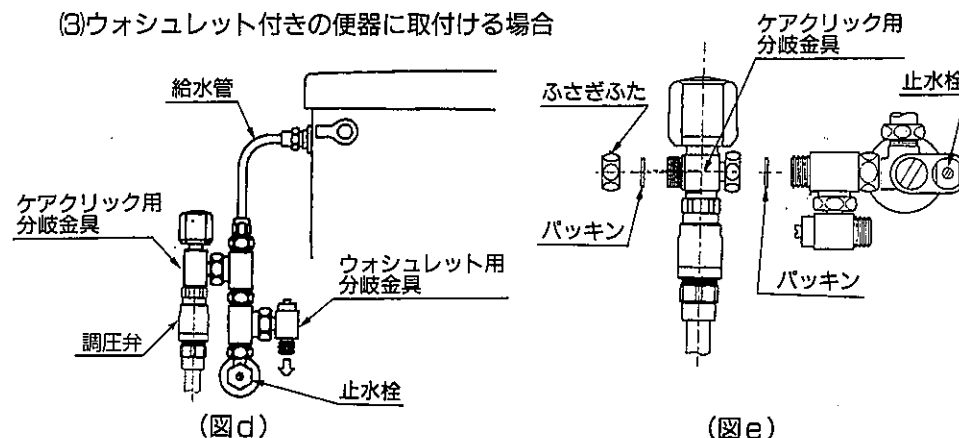


(2)ワンピース便器 (CS406、406B、406P、406PB関係) に取付ける場合



- ①ロータンク止水栓を閉じて、ふさぎふたとゴムパッキンを外してください。
- ②分岐金具を図cのようにロータンク止水栓に取付けてください。
- ③ふさぎふたとゴムパッキンを取付けてください。

(3)ウォシュレット付きの便器に取付ける場合



- ①ロータンク止水栓を閉じ、ロータンク付きの場合は給水管を、ワンピース便器の場合はふさぎふたとゴムパッキンを外してください。
- ②ロータンク付きの場合は図dのようにウォシュレット用分岐金具の上にケアクリック用分岐金具を取付けてください。
ワンピース便器の場合は図eのようにケアクリック用分岐金具を取付けてください。
- ③ロータンク付きの場合は給水管を約10mmの差込代を取れる寸法に切り、接続してください。ワンピース便器の場合はふさぎふたとゴムパッキンを取付けてください。

使用条件

1. 使用水圧

給水圧力 { 最低必要水圧………0.07MPa
最高水圧………0.75MPa

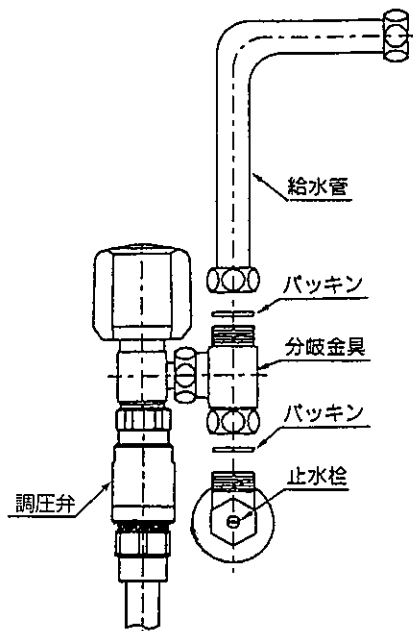
2. 使用水

上水または飲用できる水をご使用ください。

器具の取付け

1. 水栓と止水栓の取付け

(1) ロータンク付きに取付ける場合



(図a)

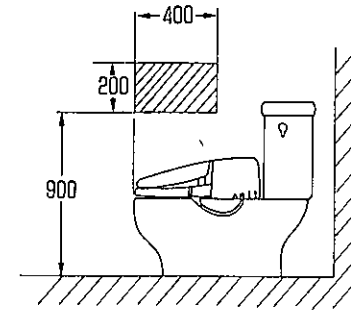
- ① ロータンク止水栓を閉じてから給水管を取外してください。
- ② 分岐金具を図aのようにロータンク止水栓に取り付けてください。
- ③ 給水管を約10mmの差込代を取れる寸法に切り、接続してください。

注意

必ず調圧弁を取り付けて下さい。
調圧弁を使用しなかった場合、
シャワーホース内の水圧が高くなり、
シャワーホースが破損したり、
水漏れして家財などを濡らす
財産損害発生のおそれがあります。

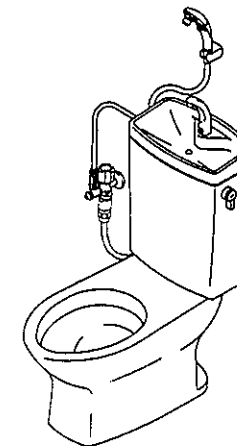
2. シャワーハンガーの取付

シャワーハンガーは図fの範囲を参考に適切な位置に取付けてください。



(図f)

手洗い付タンクの場合図gのように手洗い近くにハンガーを取付けることもできます。



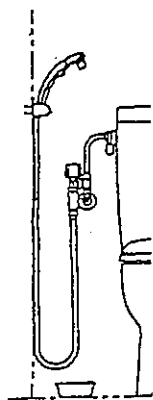
(図g)

⚠ 注意

- ・取付面が薄壁の場合は、事前に30mm以上の補強木を入れておいてください。取付けが不安定になり、落下してけがをされるおそれがあります。
- ・取付面がタイル・コンクリート壁の場合は、市販のコンクリート用プラグを使用してください。取付けが不安定になり、落下してけがをされるおそれがあります。

3. 水受けトレイの設置

水受けトレイは吐水口からの水滴をうけるためのものです。図hのように吐水口の真下に置いてください。



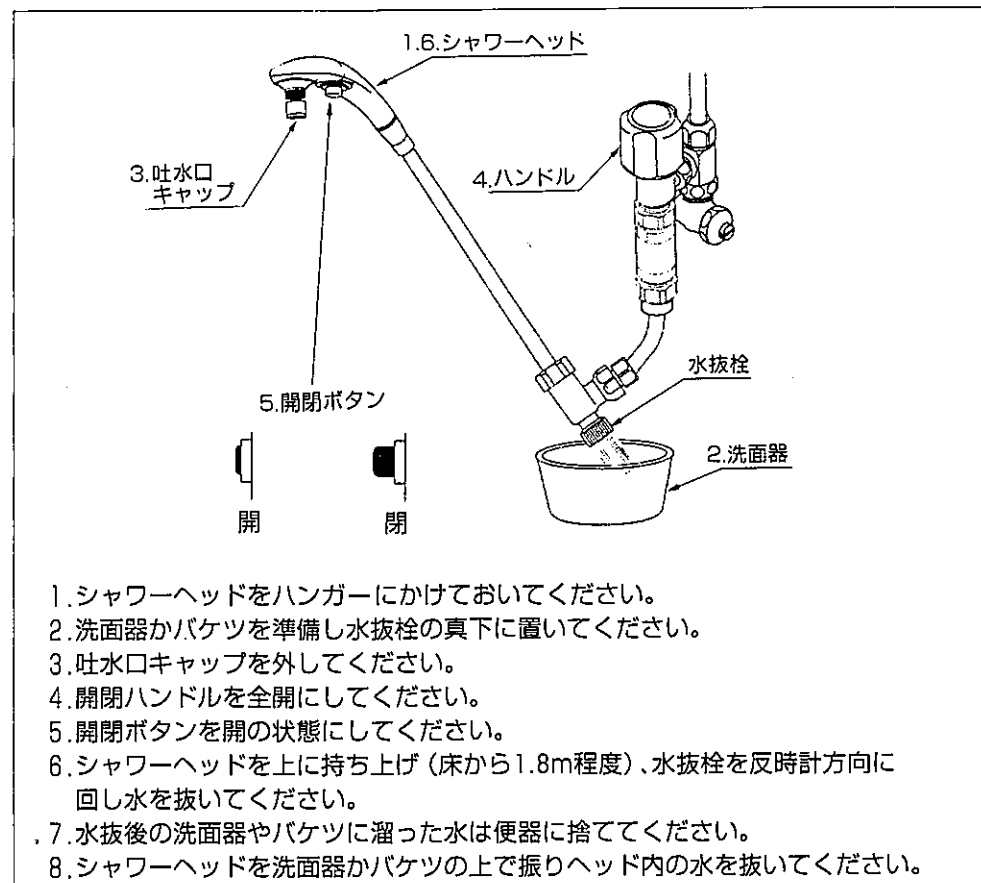
(図h)

寒冷地用水抜方法

寒冷地の場合は器具内の水を抜くため、水抜栓を設けてあります。

凍結の恐れのある時期に施工された場合は、水抜栓の操作と合わせて次の要領で水抜きを行ってください。

また、お客様にも水抜方法をご指導ください。



お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

1. ふだんはメッキ部を柔らかな布でふき、ときどきミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふいてください。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分注意してください。
2. 汚れがひどいときには、適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布で、ふきとった後、水洗いしてください。
3. クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないでください。
4. 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いしてください。

分解と点検

取付後、万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行ってください。

キャップ
ねじ
ハンドル
止め輪
リング
パッキン
ソケット
逆止弁
パッキン
調圧弁
パッキン

パッキン
吐水接手
ねじ
吐水口キャップ

スピンドル
パッキン

1. ゴミづまりはないか

2. ゴミかみはないか

3. ハンドルは全開になっているか

4. ゴミかみはないか

水受けトレイ

(寒冷地品)

現象	点検項目
流量が少ない	1. 3
水が止まらない	2
ハンドル部から漏れる	4

再生紙を使用しています。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。